

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：食品安全課
 担当名：監視・食中毒担当
 内線：3611

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B51	食肉衛生検査センター運営費			一般会計	衛生費	環境衛生費	食品衛生指導費	食肉衛生検査センター運営費	
事業期間	昭和28年度～	根拠法令	と畜場法第14条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第15条、牛海綿状脳症対策特別措置法第7条	戦略項目		分野施策 010404 食の安全・安心の確保			
1 事業概要 県民に安全で安心な食肉・食鳥肉を提供するため、と畜・食鳥検査及びBSEスクリーニング検査を行う。 経費削減による減額補正 (1) 食肉衛生検査センター運営に係る事業費 2,170千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 食肉衛生検査センター運営に係る事業費 60,827千円 食品衛生の安全確保のため、食用として牛、豚、鶏等を処理するにあたり疾病の検査を実施 偽装食肉から消費者を守るため、先進的・専門的な検査能力の集積と迅速な行政対応の調査研究 イ BSEスクリーニング検査事業費 9,409千円 牛肉の安全確保のため、牛海綿状脳症の原因である異常プリオンたん白質の検査を実施 (2) 事業計画 ア 平成27年度の検査計画 (ア) と畜検査 牛：27,170頭 豚：459,900頭 馬：8頭 (イ) 食鳥検査 670,000羽 イ 牛のBSEスクリーニング検査計画 3,207頭(48か月齢超) (3) 事業効果 ア と畜・食鳥検査実績(平成25年度) (ア) 検査数 牛：28,004頭 豚：612,467頭 馬：1頭 食鳥：825,273羽 (イ) とさつ禁止・全部廃棄 牛：170頭 豚：208頭 食鳥：10,175羽 (ウ) 一部廃棄 牛：18,223頭 豚：252,240頭 馬：1頭 食鳥：17,667羽 イ 牛のBSEスクリーニング検査実績(平成25年度) 8,551頭(検査対象：4～6月全頭、7月～3月48か月齢超)を検査し、全て陰性 (4) 補正予算の概要 経費削減による旅費と需用費の減額補正					
2 事業主体及び負担区分 (1) 食肉衛生検査センター運営 (県10/10) (2) BSEスクリーニング検査 ・BSE検査キット 48か月齢超の牛に係る費用 (国10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 厚生労働費 (細目) 衛生費 (細節) 生活衛生指導費 (積算内容) 生活衛生指導取締費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費：9,500千円×45人=399,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	使用料 及び手数料	諸収入					
決定額	2,170						2,170	68,066	
現計額	70,236	2,424	160,351	1,933			94,472		